

授業科目 精神障害作業療法学実習

【担当教員名】 河田 誠	対象学年	3	対象学科	作業
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：G I O>】
精神障害者の症例を生活機能の分類（健康と障害）により状態を把握し、対象者の回復状態に応じた作業療法の目標、作業療法の役割、具体的な治療計画について学習する。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

1. 精神障害を伴う対象者の生活機能の分類を行うことができる
2. 精神障害を伴う対象者の回復状態に応じたリハビリテーションの目標、作業療法の役割、具体的な治療計画について検討できる
3. 提示された症例の資料から対象者についてまとめることができ発表できる。
4. 精神障害者を対象とする作業療法の実際例について言える

回数		SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	国際生活機能分類、回復過程に沿った作業療法の役割について説明が受けられ、教科書より事例を検討を行い、発表書式について説明を受ける。	1.2. 3	講義
2	回復期段階の症例（統合失調症）を資料としてみる。症例に対して、グループで、生活機能の分類、リハビリテーションの目標、作業療法の役割、具体的な治療計画を検討する。	1.2. 3	講義・演習 講義
3	検討したものを用紙にまとめ発表し質疑応答		
4	検討した症例の治療経過数週間の分を資料としてみる。再度症例について検討し、現状についてまとめ、治療効果や具体的な治療計画を立てる検討をする。	1.2. 3	講義・演習 講義・演習
5	検討したものを用紙にまとめ発表し質疑応答する。		
6	維持期段階の症例（統合失調症）を資料としてみる。症例に対して、グループで、生活機能の分類、リハビリテーションの目標、作業療法の役割、具体的な治療計画を検討する。	1.2. 3	講義・演習 講義・演習
7	検討したものをA3用紙にまとめ発表し質疑応答する。		
8	検討した症例の治療経過数週間の分を資料としてみる。再度症例について検討し、現状についてまとめ、治療効果や具体的な治療計画を立てる検討をする。	1.2. 3	講義・演習 講義・演習
9	検討したものを用紙にまとめ発表し質疑応答する。		
10	維持期段階の症例（老年期の精神障害）を資料としてみる。症例に対して、グループで、生活機能の分類、リハビリテーションの目標、作業療法の役割、具体的な治療計画を検討する。	1.2. 3	講義・演習 講義・演習
11	検討したものをA3用紙にまとめ発表し質疑応答する。		
12	精神障害者を対象とする病院等での実際について	4	講義
13	精神障害者を対象とする病院等での実際について	4	講義
14	精神障害者を対象とする病院等での実際について	4	講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	ICF国際生活機能分類		中央法規	2002 3500円
	作業療法実践の仕組み	矢谷礼子・福田恵美子	協同医学出版	2001
参考書				
その他の資料	資料配付します			

【評価方法】 発表、レポート、出席	【履修上の留意点】 欠席の場合、課題提出あり。未提出の場合、1回の欠席について10点減点となるので注意してください。
----------------------	---